

平成 25 年 3 月 19 日

一橋陸上競技倶楽部

会員 各位

一橋陸上競技倶楽部

会長 青木 俊樹

「全天候型グラウンドへの改修」についてのご報告とお願い

会員の皆様には日頃から倶楽部運営に絶大なご協力を賜り、誠に有り難く心から厚く感謝申し上げます。昨年 1 月から開始しました「グラウンド改修の寄付金募集」につきましても、陸上競技部部長の先生方や会員以外の方からのご寄付を含め多くの皆様方から多大なご協力を賜りましたことに対し、改めて御礼申し上げます。

大学の財務部施設管理課が工事実務を担当しております。私たち倶楽部も担当課と密接な打ち合わせを重ねながら共同作業をしているところであります。大学は昨年 12 月に第一次の詳細仕様を確定し、本年 1 月に業者見積もりを取りました。やや高めの数字であったことや予算との関係などから、我々と協議しながら一部仕様の見直しを行い、再見積りを取る準備をしているところであります。偶々、補正予算の関係などから事務方が手一杯になっていることもあり、業者選定作業がやや遅れ気味になっているのは否めないところであります。

2 月末現在の寄付金応募状況は人数で 239 名、金額で 5420 万円となっております。ホームページにも掲載しておりますのでご承知の方も多いことと存じます。金額的には当初計画 5000 万円を上回っており申し分ありませんが、応募者数が全会員の 5 割弱となっております。「全員参加」で一橋陸上競技倶楽部の団結力の強さをアピールしたかったのですが、この点は残念な状況になっております。

本事業は創部 1923 年の一橋大学陸上競技部 90 年の歴史に残る大事業であります。多くの会員の皆様に参加して頂き、校内外から「さすが陸上競技部」という評価を頂き、現役諸君にも刺激を与えたいと考えております。また、まだ最終決定ではありませんが、大学での寄付金者名公表に準じ、「寄付者名（匿名希望者を除く）の公表」も行い、完成した暁には一人でも多くの会員の方々にグラウンドに来て頂き、自由に利用・見学して頂きたいと考えております。

そんなことから、募金の主体を従来の「グラウンド改修推進委員会（実務は委員会内の“事務局”が担当）」から一橋陸上競技倶楽部（事務局）へ変更のうえ、改めて全会員に寄付金応募のお願いをしたいと考えております。寄付活動開始前には実現可能性についての議論もありましたが、今では間違いなく実現できるところまで来ています。まだ参加

（裏面に続く）

されておられない方、或いは参加のタイミングを失した方にはこの機会をご利用頂き、是非ともご応募頂きたくお願い申し上げます。また、既にご寄付を頂いた方にはご無理を申し上げるつもりはありませんが、さらに追加のご寄付が出来ますようでしたら、現役諸君のために改めてお願いできれば幸いです。

今回は、金額・時期は問いません。1万円単位で6月頃までに応募して頂ければと考えております。目標は他部の例などから、歴史ある当倶楽部としては「参加率 7 割以上」にしたいと思っております。趣旨をご理解頂き、多くの方のご協力をよろしくお願い申し上げます。同封の振込み用紙をご利用頂きますと、これまで同様大学への寄付金扱いとなります。なお、目標を上回った分については、基金拠出額を調整するとか、グラウンドの周辺整備に充当したいと考えております。

最後に、会員の皆様には出費ご多端のおり、年会費のお願いに加えさらに寄付金のお願いまで申し上げ誠に心苦しい限りですが、どうか本趣旨をご理解の上絶大なるご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

以 上